



# 大風 便り 第244号

大風会館HP <https://higashiomi-j.com/oodakokaikan/>  
 ブログ発信中 [https://gj-gj.com/users/oodako\\_museum](https://gj-gj.com/users/oodako_museum)

編集・発行 世界風博物館東近江大風会館 令和8年9月23日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号

TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860

IP: 050-8034-1140

開館時間: 9時～17時 休館日: 水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。



毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

## 2026年特別企画

### ＝日本の風シリーズ 中国・四国地方＝

10月12日(月)まで

入館料 大人300円 小中学生150円



9月に入って台風の発生や秋雨前線の停滞などで日本全国集中豪雨に見舞われ、各地で災害なども発生しており、不安定な天気が続きました。気温は若干下がり、涼しくなってきましたが、また夏の空気におおわれ暑い日も予報されており、季節の変わり目でもあり、体調に気を付けてお過ごしください。

さて東近江大風会館では、9月19日(土)から10月12日(月)まで「日本の風シリーズ 中国・四国地方」の特別企画展を実施しています。

平成29年(2017年)から、当会館所蔵の風を地域に分けて紹介する展示会を開催しており、令和8年度は、鶴亀を描いた島根県の伝統工芸品「大社祝風」(島根県)、江戸時代以前の古い呼び名「イカ」の名残を今に伝える「倉吉いか」(鳥取県)、桃太郎伝説の鬼に着想を得た「岡山鬼風」(岡山県)、地域に伝わる大蛇伝説を描いた「古府の風」(広島県)、下関名物のフグをモチーフにした「ふく風」(山口県)、竹骨を円形に組んだ大風として知られる「わんわん風」(徳島県)、周囲に紫色の縁があり、ダルマ風とも呼ばれる「郡家いか」や力強い力士の姿を描いた「相撲風」(香川県)、中央の縦骨が山型に突き出しているのが特徴である「松山武者絵角風」(愛媛県)、3つの輪を連結したような独特の骨組み構造が特徴な「三つ風」(高知県)など、中国・四国地方の個性で魅力あふれるなど40点の風を紹介いたします。



倉吉いか(鳥取県)



大社祝風(亀)(島根県)



岡山鬼風(岡山県)



古府の風(広島県)



ふく風(山口県)



わんわん風(徳島県)



相撲風(香川県)



松山武者角風(愛媛県)



三つ風(高知県)

個性的な形をした風を展示しておりますので、是非この機会に、伝統的な風の美しさをご覧ください。

## ＝第18回チャレンジ“大風”＝

### 「熊本の復旧を願う」



平成19年からスタートしたプロジェクト「チャレンジ」

大風“」は、国の選択無形民俗文化財である「東近江大風」の制作や飛揚の技術を、将来を担う地域の小学生たちに伝承していくための大切な取り組みです。今年で第18回目を迎え、これまで延べ224名を超える子どもたちが参加してきました。今年は市内の小学生10名の子どもたちが参加しています。

9月12日(土)午前10時から、東近江大風会館の別館にて、大風作りの始まりを祝う「のりつけ式」が開催されました。式では、保存会のみなさんや保護者の方々が見守るなか、今回制作する8畳敷き(縦3.75メートル×横3.4メートル)の大風の図柄が発表となりました。

上部に描かれた二羽の鳩で、複数の鳩、鳩はキュウと読み、「復旧」、下部に大きく描かれた「願」の文字、そして中央には支援の象徴として熊本県のマスコットキャラクター「くまモン」が描かれ、風の意味(判じもん)は『熊本の復旧を願う』となっています。

続いて、大風の和紙に糊をハケで塗り、しっかりと貼り合わせる最初の「のりつけの儀」の作業が行われました。

式に続いて、「紙継ぎ」の作業を行い、8畳サイズの紙が完成して、初日の作業が終わりました。

これから子どもたちは、約2か月間・全9回にわたって本格的な大風作りに挑んでいきます。

今後の制作過程ですが、まずは大風の用紙に原寸大の骨組みや絵の位置を下書きするため設計図の線を書く「墨打ち」、竹骨に紙テープを巻く「紙巻き」を行います。続いて、原画を見ながら、コンテで大風の下絵を描き、その後、下絵の線を描く「墨入れ」と「願」の文字に朱色を塗ります。そして「色付け」を行い絵柄が完成します。

絵が完成したあとは、「骨組」の工程です。縦横の骨、そして斜めの菱骨の重なっている部分に糸でずれないようにしっかりとくり、骨組が完成します。次に、出来上がった絵と骨組をのりで合体させ、子どもたちの願いを書いた札を貼る「願い札貼り」を行い、大風の本体が完成します。そして、丸い竹を取り付け、風を受けてしっかり揚がるように糸の長さを調整する「つり糸調整」を経て、いよいよ11月7日(土)に大風が完成します!

完成した大風は、11月14日(土)に東近江市総合運動公園にて、高く舞い揚げられる予定です。



## 開講！飛行機マスターへの道★

### ＝作って飛ばす！紙飛行機教室＝



皆さんこんにちは。暑さがすこしずつ和らぎ始めましたね。いち早く秋の到来をかぎつけ食欲に身を任せている日田です。9月20日(日)に湖東体育館でこども応援「作って飛ばす！

紙飛行機教室」を開催しました。講師は鳥人間コンテストにも出場経験のある「立命館大学飛行機研究会 RAPT」の皆さんです。当日は32組38名の小学生にご参加いただきました。



はじめに、なぜ飛行機は飛ぶのかについてのレクチャーと飛行機研究会の活動紹介がありました。空を見上げて何気なくみることも多い飛行機ですが、その原理について考えることはなかなかないのではないのでしょうか？自分は詳しくないので上手く説明できませんが、羽の形状が生む「揚力」がとても重要なようです。なあんかどっかで聞いたことあるなあと思っているそのあなた！★大正解★そうなんです。風と理屈は一緒なんですね。紙飛行機も風も、どちらも「紙を素材にして作り、風によって生まれる揚力を使った遊び」です。これで大風会館が紙飛行機教室を開催した謎はキュアッと解決！

さて、説明が終わるといよいよ機体の制作が始まりました。今回作る紙飛行機はいわゆる折り紙のような飛行機ではなく、「バルサ飛行機」と呼ばれるものになります。バルサとは機体の軸に用いられる木の名前です。FCバルセロナでも燻蒸殺虫剤でもありませんのでご注意ください。バルサ材は一般的な木の重さの1/5程度でとても軽い



ため、昔から飛行機制作で用いられていたようです。加工性にも優れているため釣りのルアーや建築模型などでもよく使われる素材ですね。そこに自分で模様を付けた紙の羽を接着していきます。シールやパンチングした折り紙なども貼り付けられるように準備をしていたのですが、左右で羽の重さが違うと飛ばすときに曲がってしまいます。バランスがとれるように考えながら慎重にデコレーションしていきました。どの工程も、子ども達は真剣に作業しながらも早く飛ばしてみたい！というワクワク感にあふれている様子でした。

制作が終わり、待ちに待った体育館でのフライトです。投げ方にも少々コツがあるようで、重心の探し方や投げ方を指導くださいました。体育館半面が飛行エリアになっていたのですが、中には端から端まで飛んだ機体も！何度も飛ばしては羽の角度を調整したり、投げ方を工夫したりしている夢中な姿が印象的でした。最後には一斉にとばす「フライト対決」も行われ、よく飛んだ上位5名にシールのプレゼントがありました。

以上、体験教室レポートでした。初めて開催する教室のため至らぬ点多々ありましたが、次回開催があればより良い教室に出来るように努めたいと思います！ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

### ＝2026年10月の予定＝

日本の風シリーズ 中国・四国地方 10月12日(月)まで

- 3日(土) チャレンジ”大風 8畳敷大風作り
- 8日(木) ちいさなたびいち 申込み開始 正午から
- 9日(金) 愛知川小学校1年生 見学と風作り
- 10日(土) チャレンジ”大風 8畳敷大風作り
- 11日(日) ガチャフェス2026
- 11日(日) キッズトライアル in 東近江
- 17日(土) チャレンジ”大風 8畳敷大風作り
- 18日(日) 家族ふれあいサンデー
- 21日(水) 箕作小学校6年生 2畳敷大風作り 骨組
- 23日(金) 菩提寺北小学校1年生 見学 雨天 風作り
- 24日(土) チャレンジ”大風 8畳敷大風作り
- 25日(日) 赤べこ絵付け教室
- 27日(火) 大風会館職員研修
- 29日(木) びわ北小学校3年生・4年生 見学と風作り
- 30日(金) 下田小学校1年生 見学 雨天 風作り

10月休館日：10/7・10/13・10/14・10/21・10/27・10/28

### ＝ちいさなたびいち 2026＝

「ちいさなたびいち」とは、東近江市の暮らしに息づく小さな幸せを集めた期間限定の旅の市場です。地域の魅力を感じる体験型プログラムが市内の各所で開催され、東近江大風会館からは、3プログラムで参加しています。

#### 1.赤べこ絵付け教室

福島県会津地方の張り子「赤べこ」の絵付け体験

・開催日時：10月25日(日)

1回目：10:00～11:30 2回目：13:30～15:00

・定員：各回15人 ・参加費：1,600円(税込)

・対象：小学生～大人(※小学生は保護者同伴)



#### 2.近江だるま絵付け教室

愛くるしい顔が特徴的な、東近江市に伝わる郷土玩具「近江だるま」の絵付け教室です。近江だるま保存会の方に教えていただきます。

・開催日時：11月1日(日) 10:00～12:00

・定員：20人 ・参加費：1,700円(税込)

・対象：小学生～大人(※小学生は保護者同伴)



#### 3.～羊(ひつじ)の風絵～ガリ版年賀状作り

来年の干支「羊」が描かれた風の絵をもとに、ガリ版印刷で年賀状を作ります。一般社団法人がもう夢工房の指導のもと行います。

・開催日時：12月13日(日) 13:00～15:00

・定員：15人 ・参加費：800円(税込)

・対象：小学生～大人(※小学生は保護者同伴)



公式Webサイト <https://chiisanatabiichi.jp/>

・予約受付開始日時：2026年10月8日(木) 正午(予定)

### ＝ガチャフェス2026＝

10月11日(日)は、小学生以下のお子様は無料、大人の方も100円で近江鉄道の電車が乗り放題となる特別な一日「ガチャフェス2026」が開催されます。このガチャフェスの事業に大風会館も参加しており、10月11日(日)は、館内で「駅長ガチャコンの風作り体験」を開催します！

小学生以下のお子様を対象に、1枚300円(入館料必要)で「駅長ガチャコン」の風作りに挑戦していただけます。100畳敷大風をご覧になりながら、駅長ガチャコン風を作ってみてくださいね。



### ＝キッズトライアル in 東近江＝



日中はまだ暑い日がありますが、ようやく秋の気配を感じる今日この頃です。さて今年も「ガチャフェス」が開催されますが、近江

鉄道沿線を活用してびわこ学院大学では「キッズトライアル in 東近江」が開催されます。時間は10時から15時までです。ものづくりや自然体験、お仕事体験など子どもたちの「やってみたい！」が詰まった体験型イベントで、フードマルシェもやってきます。東近江大風会館はこちらのキッズトライアルにも参画しており、びわこ学院大学の学生さんたちと一緒に、「風作り・風揚げ体験」を行います。

自分だけのオリジナル風を作って、そのまま広いグラウンドで思いっきり大空へ揚げて楽しむことができますよ。

予約不要、材料費300円でどなたでもご参加いただけます。



### ＝まるごと八日市～八日市は妖怪地～＝

10月8日(木)から31日(土)まで、「まるごと八日市～八日市は妖怪地～」が開催されます！期間中は、八日市の街なかに隠れている妖怪オブジェを探して写真を撮影すると、限定のお礼がもらえる「妖怪フォトラリー」など、街を歩いて楽しめる企画が満載です。ガチャフェスが開催される10月11日(日)

には、街のあちこちでイベントが開催されます！八日市駅の待合室ではガチャフェスや近江鉄道グループのオリジナルグッズが販売、駅前通り(歩行者天国)では「勝つ」にちなんだ絶品グルメが大集合する「カツフェス2026」が楽しめます。また、SATSUKI-RO(サツキロ)では妖怪・ハロウィングッズやグルメが集まる「Yokaichi Market」とキツネのお面絵付け体験、そのほか、レトロな機関車体験や妖怪トンネルなどのハロウィンイベントが開催、本町商店街サンパークでは、新鮮な地場野菜の販売やお米の試食ができる「ひがしおうみ野菜マルシェ」も開かれます。10月11日はぜひお得な近江鉄道に乗って、八日市の街なか、びわこ学院大学、そして東近江大風会館へお越しください。皆様のご来場を心よりお待ちしております！

